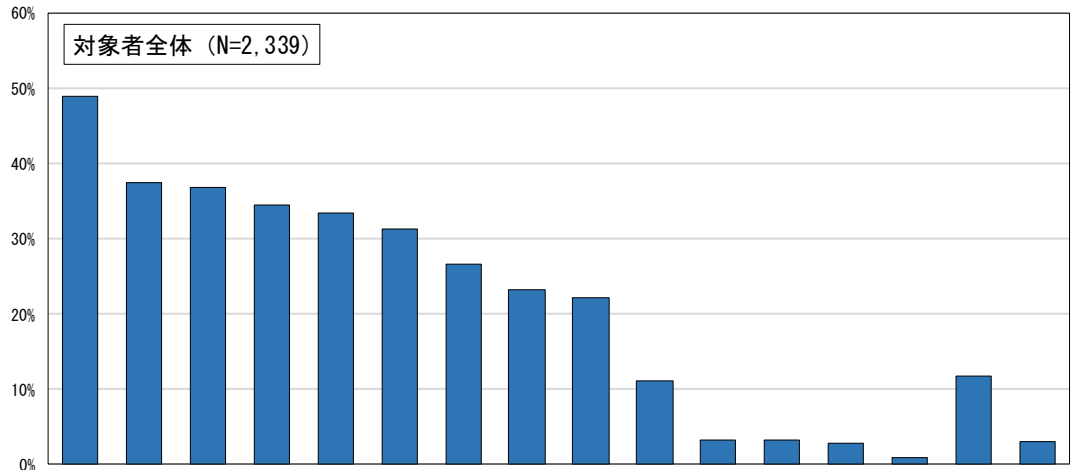


(2)災害への備えや避難の考え方、子育て時の防災について

◇行っている災害対策

問 1 2 あなたの家庭では、地震や風水害などの災害に備えてどのような対策をしていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

行っている災害対策は、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が 48.9%



対象者数 (%)	食料品や飲料水などの多めの買い置き (ローリングストック)	ハザードマップの確認	備蓄品や非常持ち出し品の用意	家具の固定や配置の工夫	避難方法や最寄りの避難場所の確認	地震保険、水災保険など災害関連の保険への加入	自家用車へ早めの満タン給油 (こまめな給油)	災害時の心得や知識の取得	テレビや書籍、インターネットなどで	家族間での連絡方法や集合場所などの共有	リインストアール	地域での防災訓練や防災イベントへの参加	家屋や塀などの補強	親戚や知人宅への避難の相談	その他	特に何もしていない	無回答	
対象者全体	2,339	48.9	37.4	36.7	34.5	33.4	31.3	26.6	23.2	22.1	11.1	3.3	3.2	2.9	1.0	11.8	2.9	
性別																		
男性	937	43.2	35.6	34.4	33.6	28.6	30.9	28.8	23.4	18.8	10.9	3.1	3.4	2.5	1.1	12.8	3.3	
女性	1,376	52.8	38.7	38.4	35.2	37.1	31.6	25.4	23.0	24.5	11.2	3.6	3.1	3.3	0.9	10.9	2.4	
その他	7	71.4	57.1	57.1	28.6	14.3	28.6	-	42.9	-	28.6	-	-	-	-	14.3	-	
年代別																		
29歳以下	167	34.7	21.0	23.4	23.4	21.0	10.8	12.0	21.0	18.0	11.4	-	1.2	4.8	1.2	22.8	1.2	
30~39 歳	218	38.1	28.0	39.0	28.4	32.6	28.4	23.4	22.5	19.3	8.7	1.4	2.8	6.4	1.4	17.0	1.8	
40~49 歳	346	51.7	36.7	43.6	33.8	30.3	37.0	29.2	24.3	27.2	14.2	1.7	1.7	4.0	1.7	7.8	1.7	
50~59 歳	414	50.7	39.4	38.6	36.0	30.9	29.2	32.6	24.9	19.6	14.5	1.9	2.2	1.9	0.2	11.1	1.7	
60~69 歳	441	56.7	41.7	39.0	37.2	34.5	33.6	31.3	23.1	22.9	11.8	2.7	4.5	1.4	1.1	9.8	2.0	
70 歳以上	735	48.6	41.0	33.9	36.9	39.3	34.1	23.7	22.6	22.4	8.2	6.7	4.2	2.4	0.8	11.0	4.8	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】行っている災害対策は、「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」が 48.9%、「ハザードマップの確認」が 37.4%、「備蓄品や非常持ち出し品の用意」が 36.7% となっている。

【性 別】「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」、「避難方法や最寄りの避難場所の確認」、「家族間での連絡方法や集合場所などの共有」は女性が男性より 5.7 ポイント以上高くなっている。

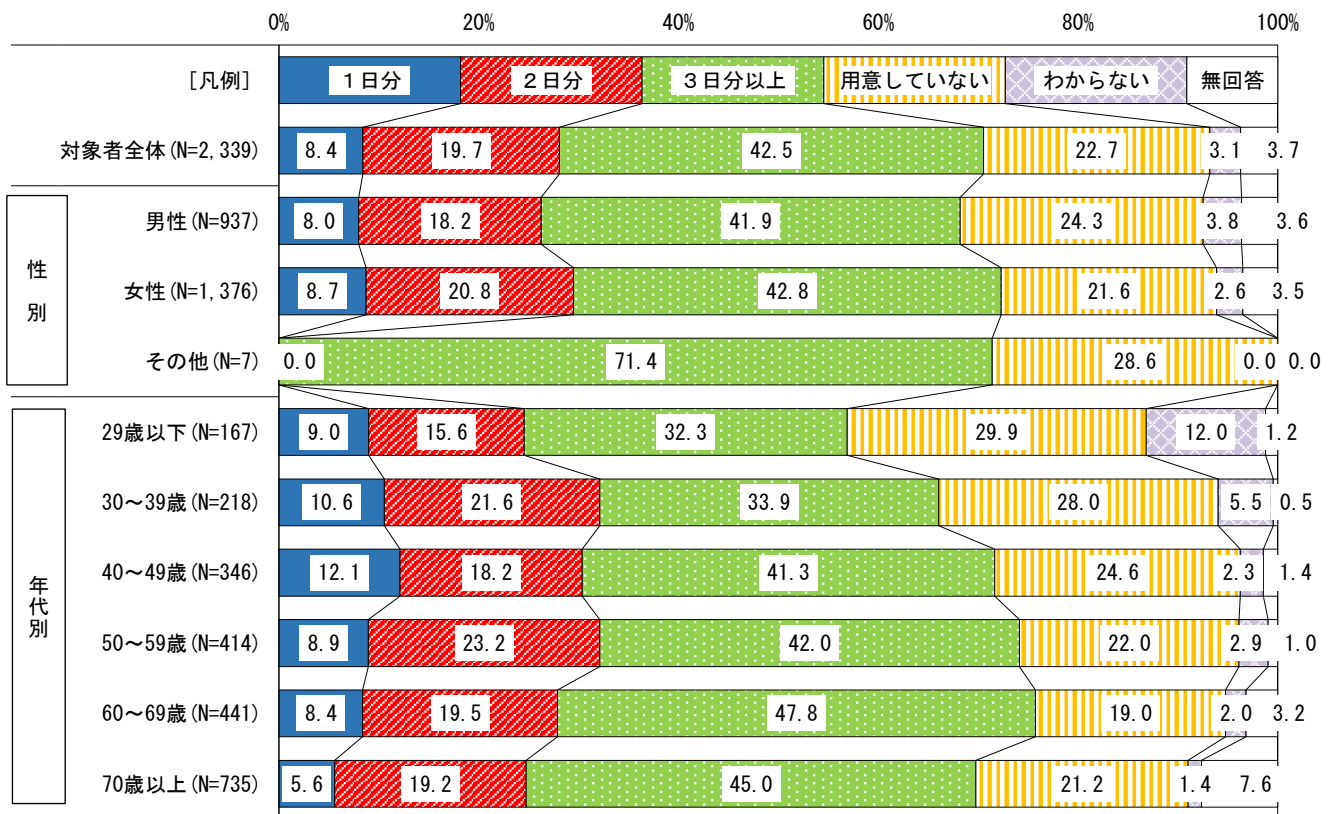
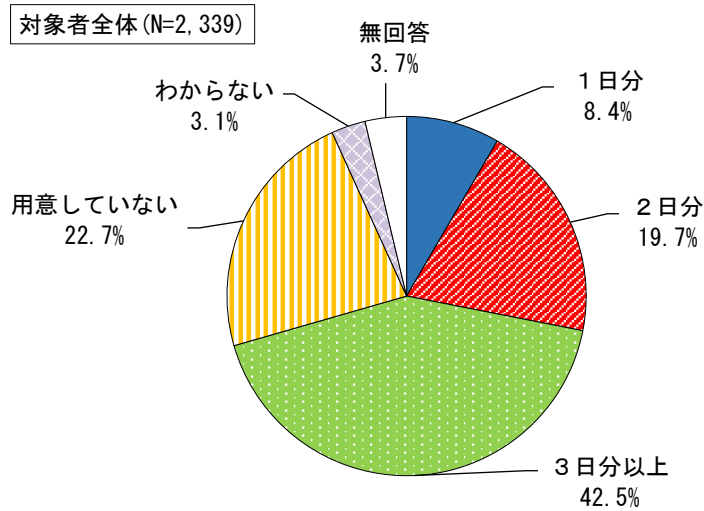
【年代別】「食料品や飲料水などの多めの買い置き（ローリングストック）」は 60 歳代 (56.7%) が最も高く、最も低い 29 歳以下 (34.7%) と比べると 22.0 ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問 1 3 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ア 飲料水

災害に備えて用意している飲料水は、「3日分以上」が42.5%



【全 体】災害に備えて用意している飲料水は、「3日分以上」が42.5%、「用意していない」が22.7%、「2日分」が19.7%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

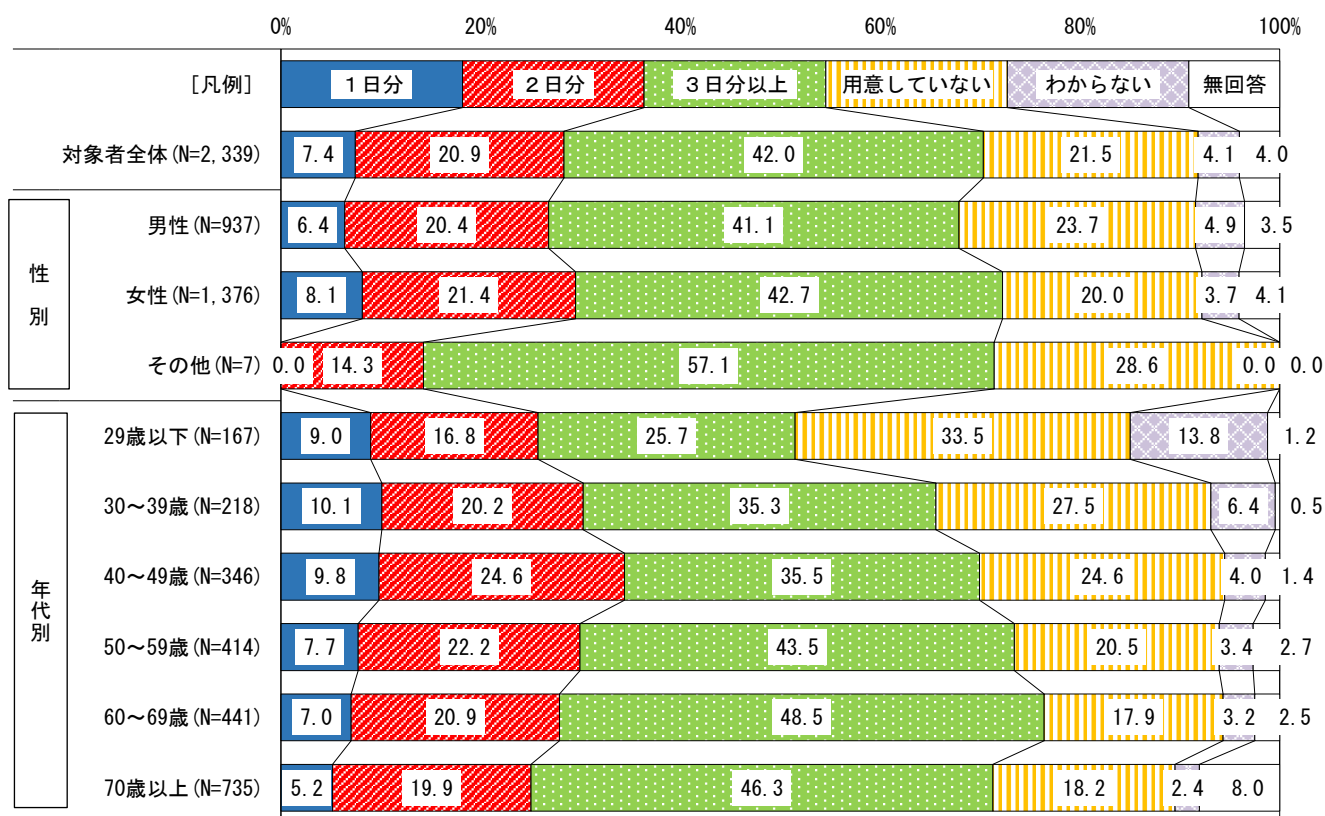
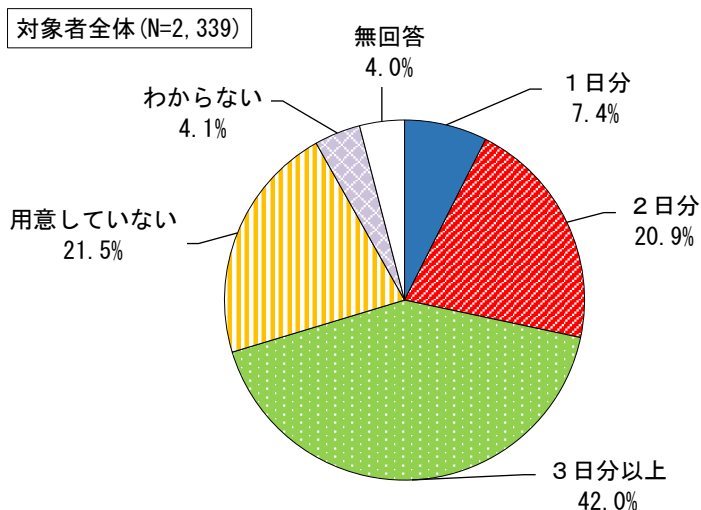
【年代別】「3日分以上」が60歳代(47.8%)で最も高く、最も低い29歳以下(32.3%)と比べると15.5ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問13 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

イ 食料

災害に備えて用意している食料は、「3日分以上」が42.0%



【全体】災害に備えて用意している食料は、「3日分以上」が42.0%、「用意していない」が21.5%、「2日分」が20.9%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

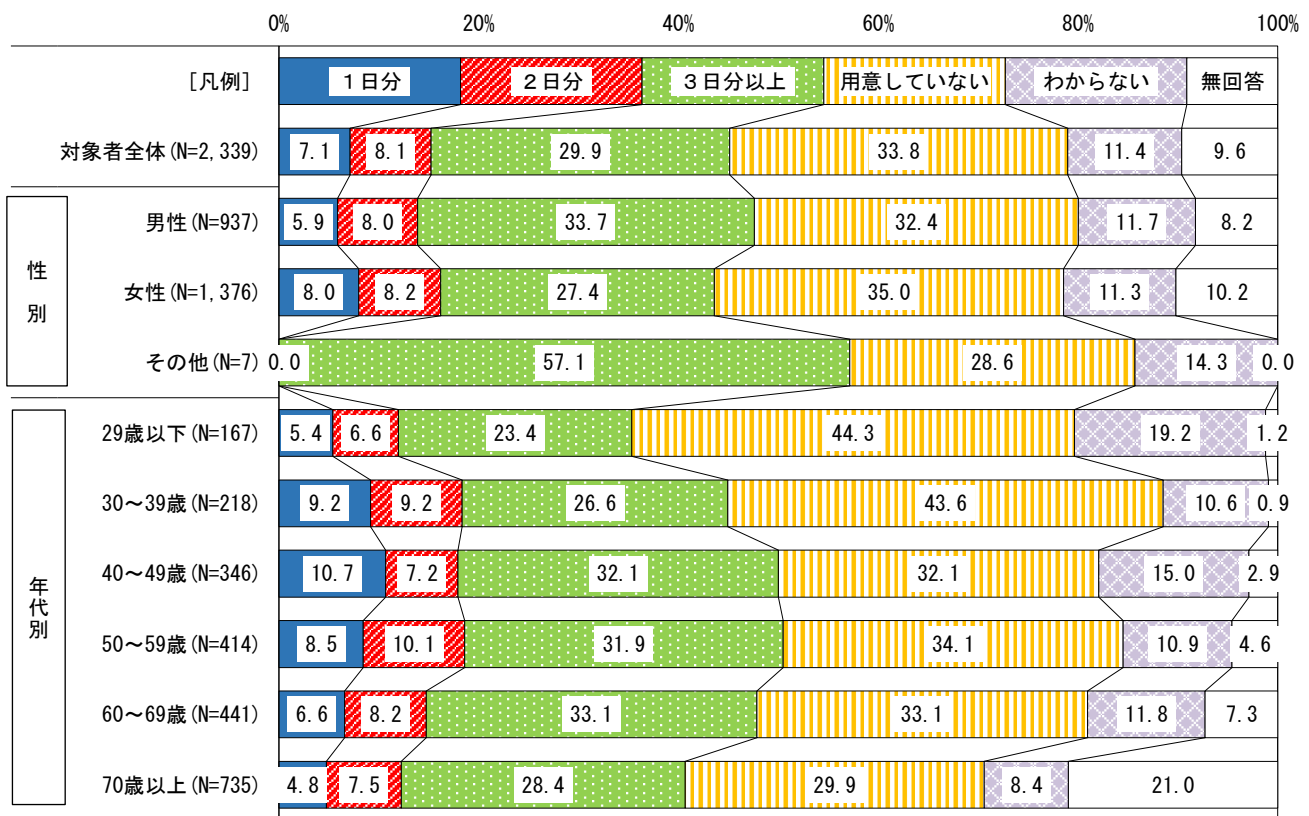
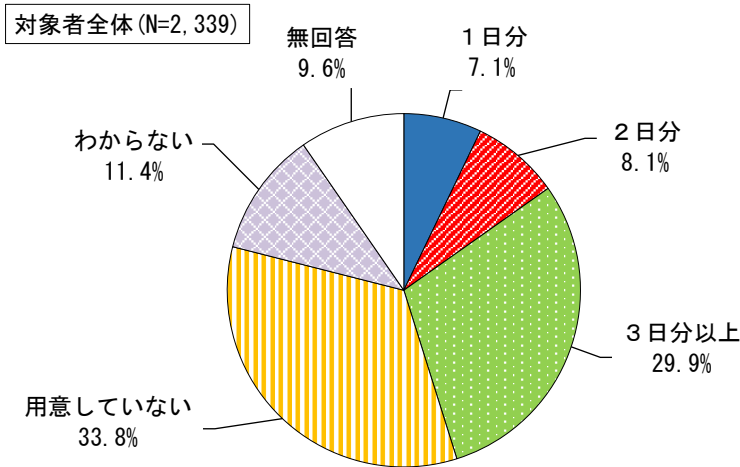
【年代別】29歳以下では「用意していない」が、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「3日分以上」が最も高くなっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問 1 3 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

ウ 防寒具

災害に備えて用意している防寒具は、「3日分以上」が29.9%



【全 体】災害に備えて用意している防寒具は、「用意していない」が33.8%、「3日分以上」が29.9%となっている。

【性 別】「3日分以上」は、男性が33.7%と、女性の27.4%より6.3ポイント高くなっている。

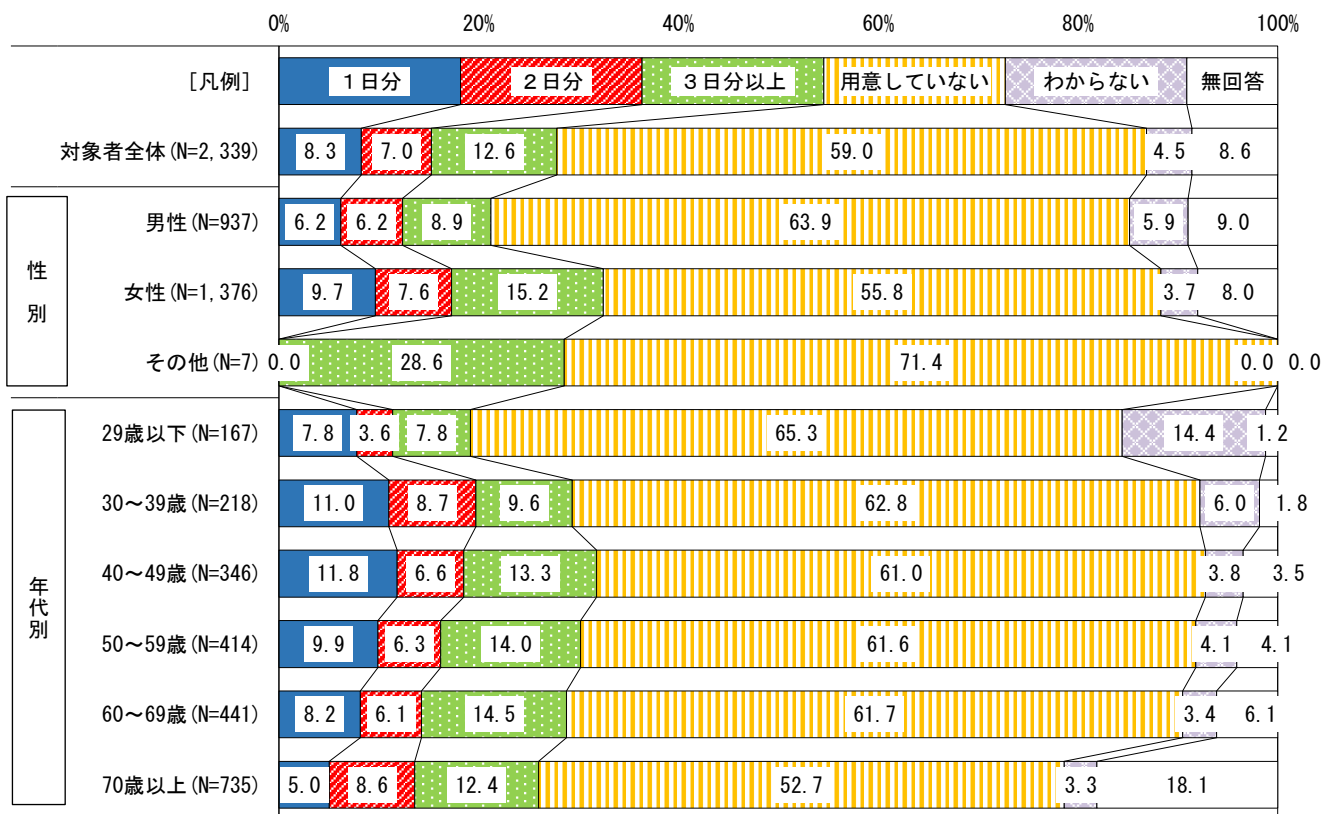
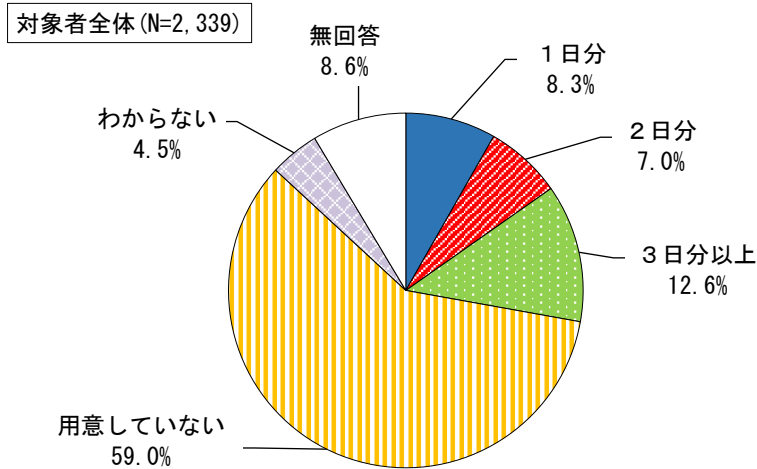
【年代別】「用意していない」が29歳以下（44.3%）で最も高く、最も低い70歳以上（29.9%）と比べると14.4ポイントの差となっている。

◇災害に備えて用意している備蓄品

問 1 3 あなたは、災害に備えて具体的にどのような備蓄品を何日分用意していますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

エ 携帯トイレ

災害に備えて用意している携帯トイレは、「3日分以上」が12.6%



【全 体】災害に備えて用意している携帯トイレは、「用意していない」が59.0%、「3日分以上」が12.6%、「1日分」が8.3%となっている。

【性 別】「用意していない」は、男性が63.9%と、女性の55.8%より8.1ポイント高くなっている。また、「3日分以上」は、女性が15.2%と、男性の8.9%より6.3ポイント高くなっている。

【年代別】「用意していない」が29歳以下（65.3%）で最も高く、最も低い70歳以上（52.7%）と比べると12.6ポイントの差となっている。

## ◇災害に備えて用意している備蓄品

**問13-1** 問13のア～エ以外に災害に備えているものがあれば、具体的にどのような備蓄品を何日分用意しているかご自由にお書きください。

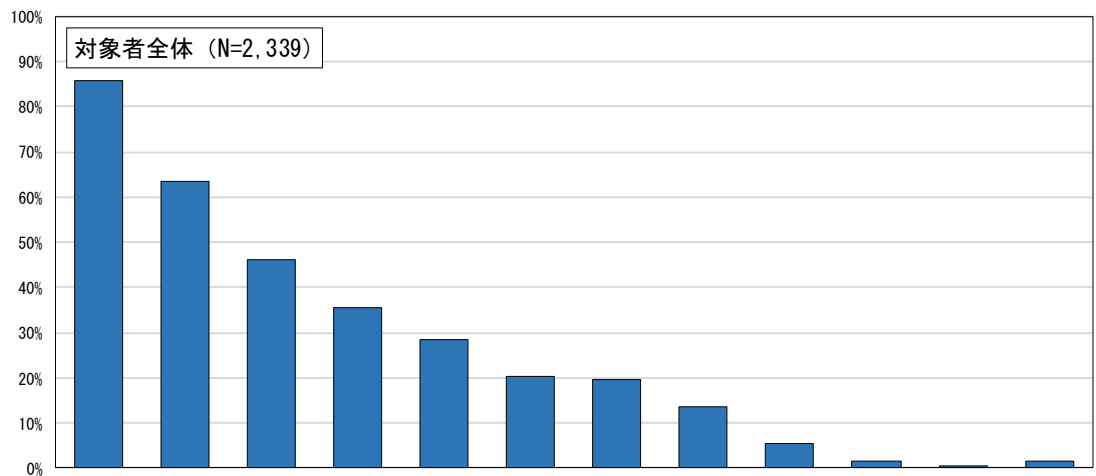
**この設問には 427 人の方が回答を記載しました。回答の一部を紹介します。**

- ソーラー充電器、電池各種（単3、単4を各10本程度）、ラジオ、トイレットペーパー（2週間分）、箱ティッシュ（1週間分）（女性・50代）
- 日用品（ティッシュやトイレットペーパー、ペットシート、ラップ等）3日以上（女性・50代）
- 割りばし30膳、スプーン100本、カセットコンロ（ボンベ3本）鍋、紙コップ、使い捨てどんぶり等の容器。私は東日本大震災の被災者なので、炊き出しはあっても容器が無くて困っている人を見ているから（男性・60代）
- カップ麺、飲み物は家族分2週間以上、発電機、ランプ、照明、ラジオ、ペット用品1週間分等（女性・60代）
- 懐中電灯、防水シート、リュックサック、ラジオ、電池、防寒シート、ホッカイロ、手袋、水筒、ビニール袋、ガムテープ（男性・60代）
- マスク30日分、生理用品3日分、ニトリル手袋2箱、中身の見えない袋20枚（黒）、アルコール2本、電池単3・単4各10本（女性・50代）
- 軍手、電池、歯ブラシ、歯磨き粉、スリッパ、モバイルバッテリー、チャッカマン、懐中電灯、ガス缶ストーブ（女性・40代）
- トイレットペーパー3日以上。ボックスティッシュ3日以上。生理用品3日以上。電灯6個以上（女性・50代）
- ポータブルガスストーブ、薪ストーブ（どちらも3日以上）、手回し充電ラジオ、アルミシート（男性・60代）
- 小銭（10円など3000円分位）、充電器、マスク（4日分）、スリッパ、洗面用品（男性・30代）
- 小さな子供がいるので粉ミルク、紙おむつ、おしり拭き（各3日以上）（女性・30代）
- インスタントのスープ、麺、レトルトのカレー、ご飯30日分（女性・60代）
- モバイルバッテリー2日分、LED照明器具3日分、乾電池3日分（女性・30代）
- カセットガス5日分、トイレットペーパー5日分（女性・50代）
- 薬（3日分）、モバイルバッテリー（2日分）（男性・50代）
- 除菌シート、無水シャンプー、マスク、タオル、薬3日以上（女性・50代）
- 紙皿、紙コップ、割りばし、ラップ、マスク、電池、各2～3日分（女性・40代）
- 電池、ライト、紙皿、紙コップ、軍手、長靴（全て3日以上です）（女性・40代）
- サランラップ、アルミホイル、ビニール袋を3日以上（女性・60代）
- 冬の間は灯油4リットル、カセットボンベ4日分（女性・20代）
- 薬1週間分、衛生用品1週間分など（男性・50代）
- 防災カバン2名分（女性・30代）

## ◇災害情報の入手手段

問14 あなたは、地震や風水害などの災害が発生または発生のおそれがある場合、どのような手段で災害情報を入手しますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

### 災害情報の入手手段は、「テレビの速報やニュース」が85.7%



対象者数		テレビの速報やニュース	緊急速報メール (エリアメール)	インターネットのニュース	ラジオの速報やニュース	SNS	防災情報のアプリからの通知	新聞	家族等からの固定電話への連絡	知人等の口コミ	家族等からのFAXへの連絡	あてはまるものがない	無回答	
		(%)												
対象者全体		2,339	85.7	63.6	46.2	35.4	28.5	20.3	19.7	13.4	5.4	1.5	0.4	1.5
性別	男性	937	84.3	59.7	49.9	38.1	24.1	21.5	19.1	12.0	3.4	1.5	0.3	1.4
	女性	1,376	86.9	67.1	43.9	33.6	31.6	19.5	20.1	14.5	6.8	1.4	0.4	1.2
	その他	7	71.4	57.1	71.4	42.9	71.4	42.9	-	14.3	14.3	-	-	-
年代別	29歳以下	167	74.3	58.7	59.9	28.1	68.3	18.0	4.2	9.6	2.4	0.6	1.2	0.6
	30~39歳	218	80.3	71.1	66.5	25.7	60.6	25.2	5.0	9.6	5.0	0.9	-	0.5
	40~49歳	346	82.4	75.7	66.8	33.2	42.5	24.6	9.8	6.1	4.0	0.3	-	1.2
	50~59歳	414	85.5	77.1	62.1	34.5	29.0	23.2	13.8	9.7	4.3	0.7	0.2	1.0
	60~69歳	441	87.8	66.7	49.2	37.2	21.3	24.0	21.3	5.7	3.6	0.9	0.2	0.9
	70歳以上	735	90.9	48.8	17.4	40.3	8.0	13.7	34.6	25.7	8.4	3.0	0.5	2.2

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】災害情報の入手手段は、「テレビの速報やニュース」が85.7%、「緊急速報メール (エリアメール)」が63.6%、「インターネットのニュース」が46.2%となっている。

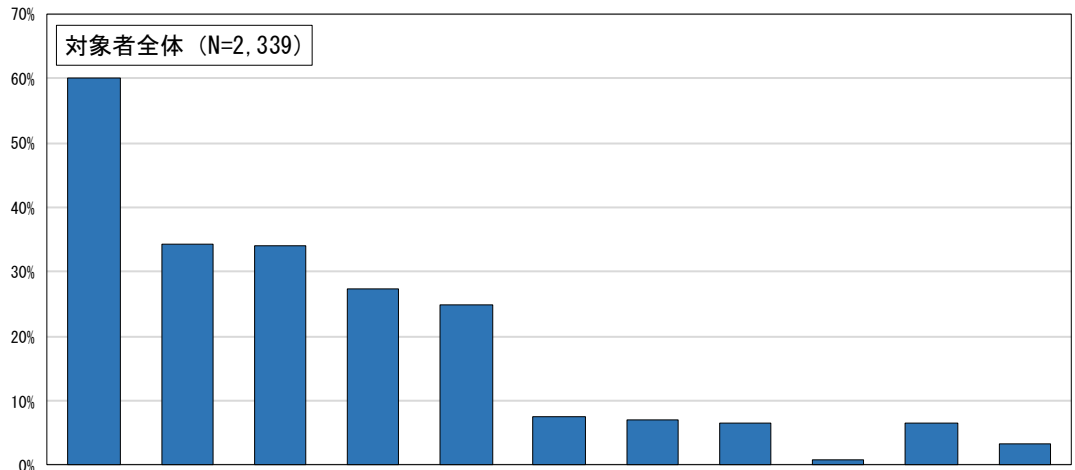
【性別】「インターネットのニュース」は、男性が49.9%と、女性の43.9%より6.0ポイント高くなっている。また、「緊急速報メール (エリアメール)」、「SNS」は、女性が男性より7.4ポイント以上高くなっている。

【年代別】「テレビの速報やニュース」、「新聞」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNS」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うもの

問15 あなたが、札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うものについて、あてはまるものにくつでも○をつけてください。

札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うものは、「テレビ、ラジオによる情報伝達」が59.9%



対象者数		テレビ、ラジオによる情報伝達	アプリやホームページによる情報伝達	SNSによる情報伝達	電子メールによる情報伝達	屋外拡声器による情報伝達	電子看板（デジタルサイネージ）による情報伝達	防災行政無線等の戸別受信機による情報伝達	電話、FAXによる情報伝達	その他	特になし	無回答	
対象者数		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
対象者全体		2,339	59.9	34.2	34.1	27.3	25.0	7.4	7.1	6.6	0.8	6.5	3.4
性別	男性	937	58.9	35.4	32.4	29.5	21.6	8.8	5.7	7.5	1.1	7.9	1.9
	女性	1,376	60.8	33.5	35.5	26.1	27.4	6.6	8.1	6.0	0.6	5.7	3.9
	その他	7	71.4	42.9	57.1	14.3	42.9	14.3	28.6	-	-	-	-
年代別	29歳以下	167	40.7	41.3	58.7	21.6	20.4	10.2	3.6	2.4	0.6	12.6	-
	30～39歳	218	44.5	42.2	51.8	19.3	28.4	13.8	8.7	1.8	1.8	7.8	0.9
	40～49歳	346	47.7	46.5	50.9	25.4	24.6	13.6	6.9	2.0	1.4	7.2	1.4
	50～59歳	414	55.3	47.6	38.4	29.7	24.6	7.5	5.6	2.2	0.5	7.5	1.7
	60～69歳	441	65.1	38.3	32.2	36.7	24.7	7.0	7.0	2.5	0.7	5.0	1.1
	70歳以上	735	74.3	14.8	14.8	25.0	25.7	2.4	8.4	15.8	0.4	4.8	7.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌市からの災害情報の伝達手段として導入または強化したほうがいいと思うものは、「テレビ、ラジオによる情報伝達」が59.9%、「アプリやホームページによる情報伝達」が34.2%、「SNSによる情報伝達」が34.1%となっている。

【性別】「屋外拡声器による情報伝達」は、女性が27.4%と、男性の21.6%より5.8ポイント高くなっている。

【年代別】「テレビ、ラジオによる情報伝達」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。また、「SNSによる情報伝達」は年代が下がるにつれて割合が高くなっている。

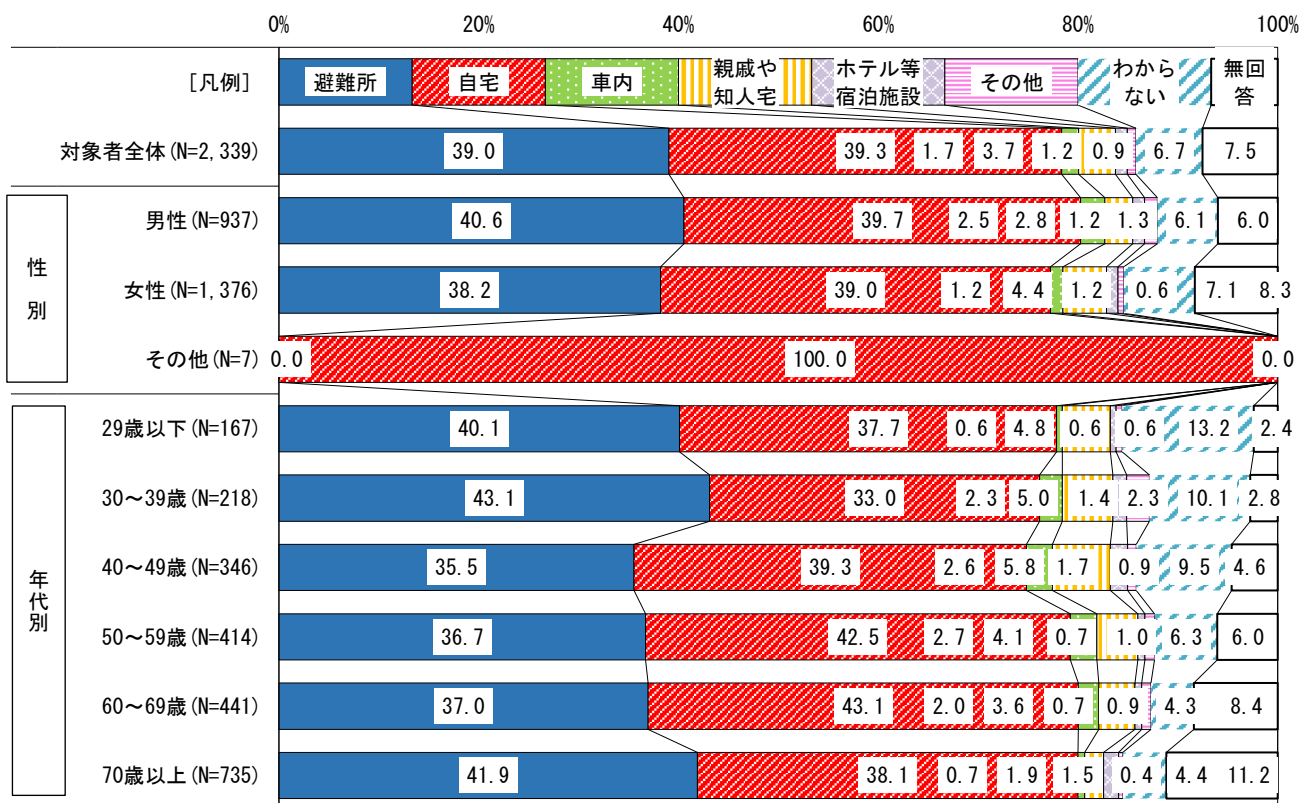
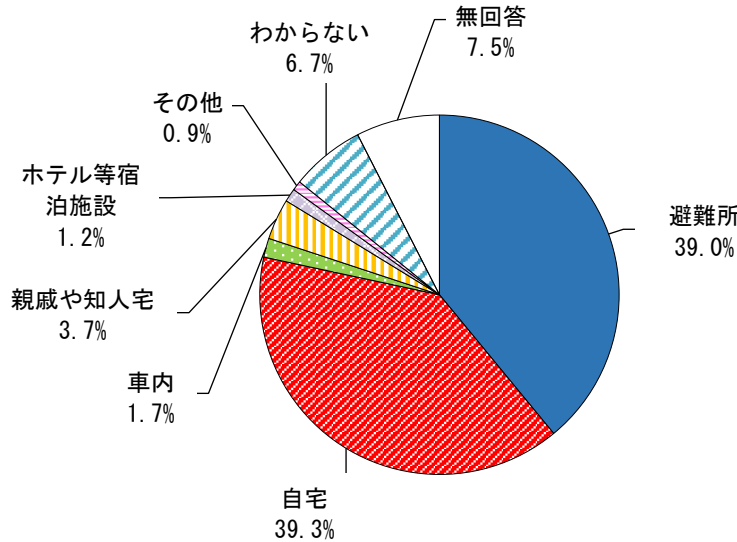


◇避難指示が発令された場合の避難場所

問 1 6 風水害（洪水や土砂災害など）が起き、自分の住む地域が災害のおそれが高い状況となった際に、札幌市から避難指示（高齢者等避難も含む）が発令された場合、あなたはどこへ避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

避難指示が発令された場合の避難場所は、「自宅」が39.3%

対象者全体(N=2,339)



【全 体】避難指示が発令された場合の避難場所は、「自宅」が39.3%、「避難所」が39.0%、「親戚や知人宅」が3.7%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

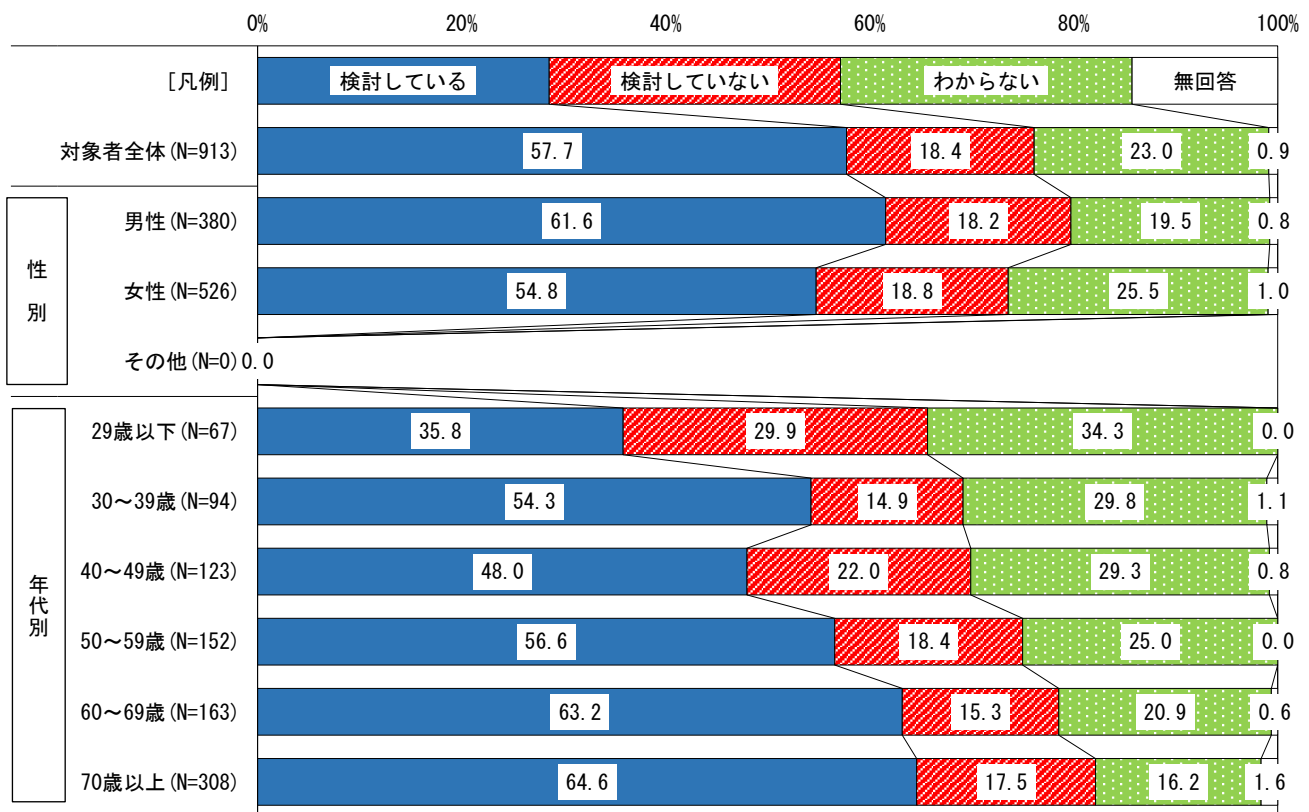
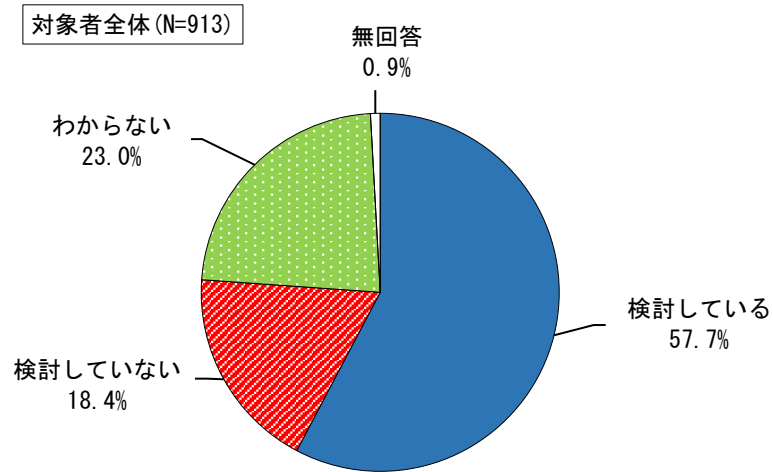
【年代別】29歳以下、30歳代、70歳以上では「避難所」が、40歳代、50歳代、60歳代では「自宅」が最も高くなっている。

◇垂直避難をふまえた避難場所の検討

《問16で「1 避難所」と答えた方にお聞きします。》

問16-1 あなたは、垂直避難をふまえた避難場所を検討していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

垂直避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が57.7%



【全体】垂直避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が57.7%、「検討していない」が18.4%となっている。

【性別】「検討している」は、男性が61.6%と、女性の54.8%より6.8ポイント高くなっている。また、「わからない」は、女性が25.5%と、男性の19.5%より6.0ポイント高くなっている。

【年代別】「検討している」が70歳以上（64.6%）で最も高く、最も低い29歳以下（35.8%）と比べると28.8ポイントの差となっている。

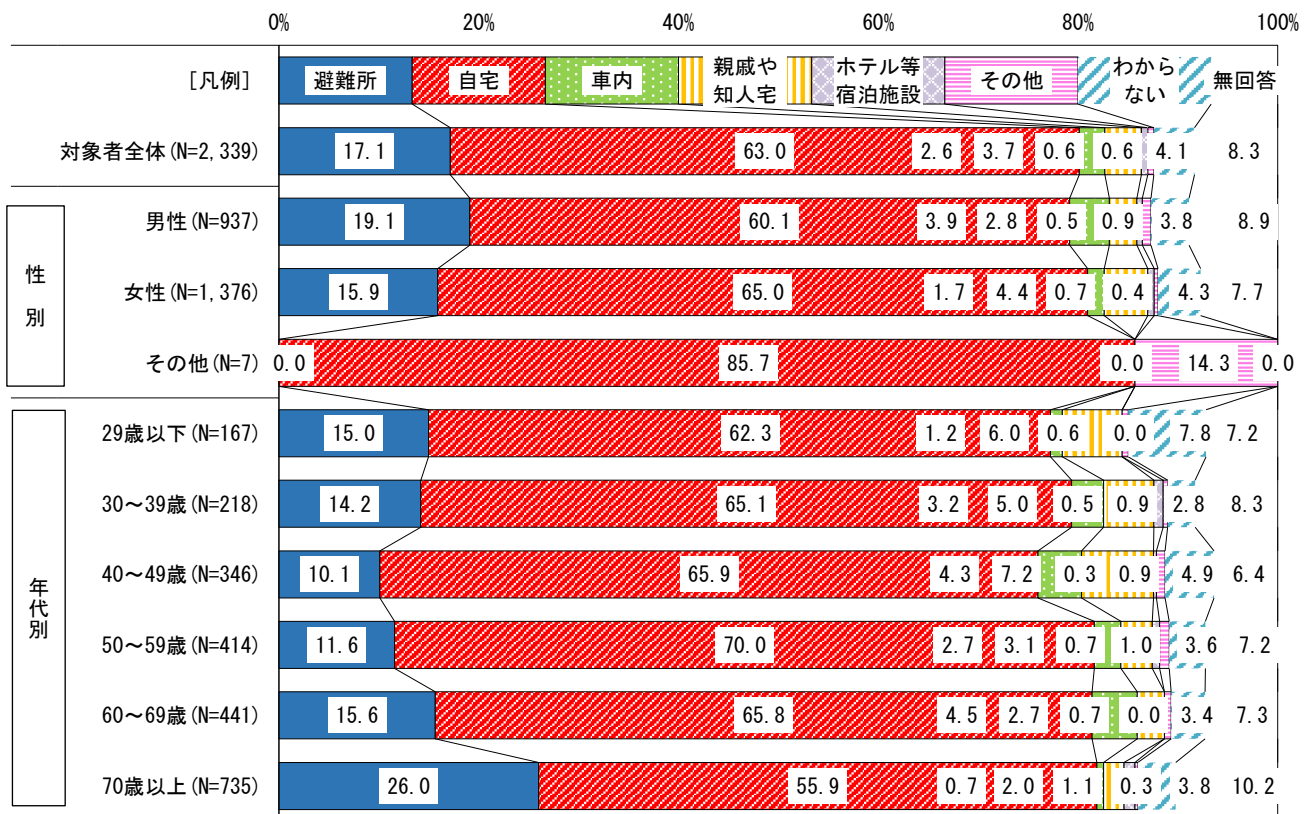
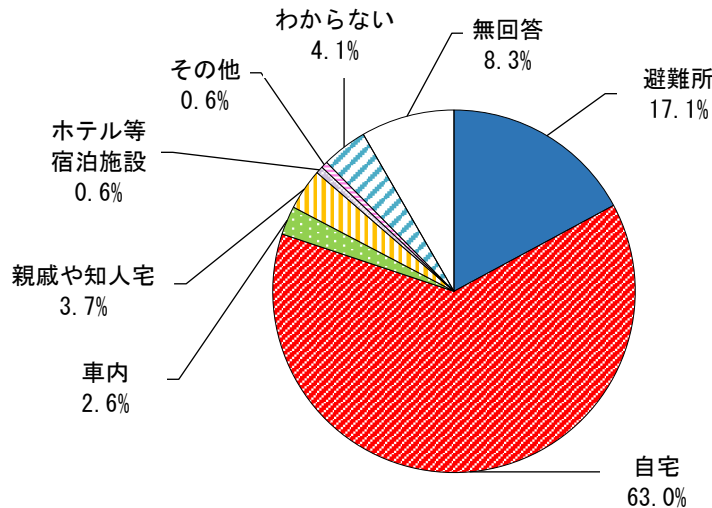
◇大きな地震が発生し、自宅の被害が少ない場合に、大規模な停電となったときの避難場所

《皆さまにお聞きます。》

問 1 7 大きな地震が発生し、自宅の被害がないまたは少ない場合において、大規模な停電となったとき、あなたはどこへ避難しますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

**大きな地震が発生し、自宅の被害が少ない場合に、大規模な停電となったときの避難場所は、「自宅」が63.0%**

対象者全体 (N=2,339)



【全 体】大きな地震が発生し、自宅の被害が少ない場合に、大規模な停電となったときの避難場所は、「自宅」が63.0%、「避難所」が17.1%、「親戚や知人宅」が3.7%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「避難所」が70歳以上(26.0%)で最も高く、次いで60歳代(15.6%)、29歳以下(15.0%)となっている。

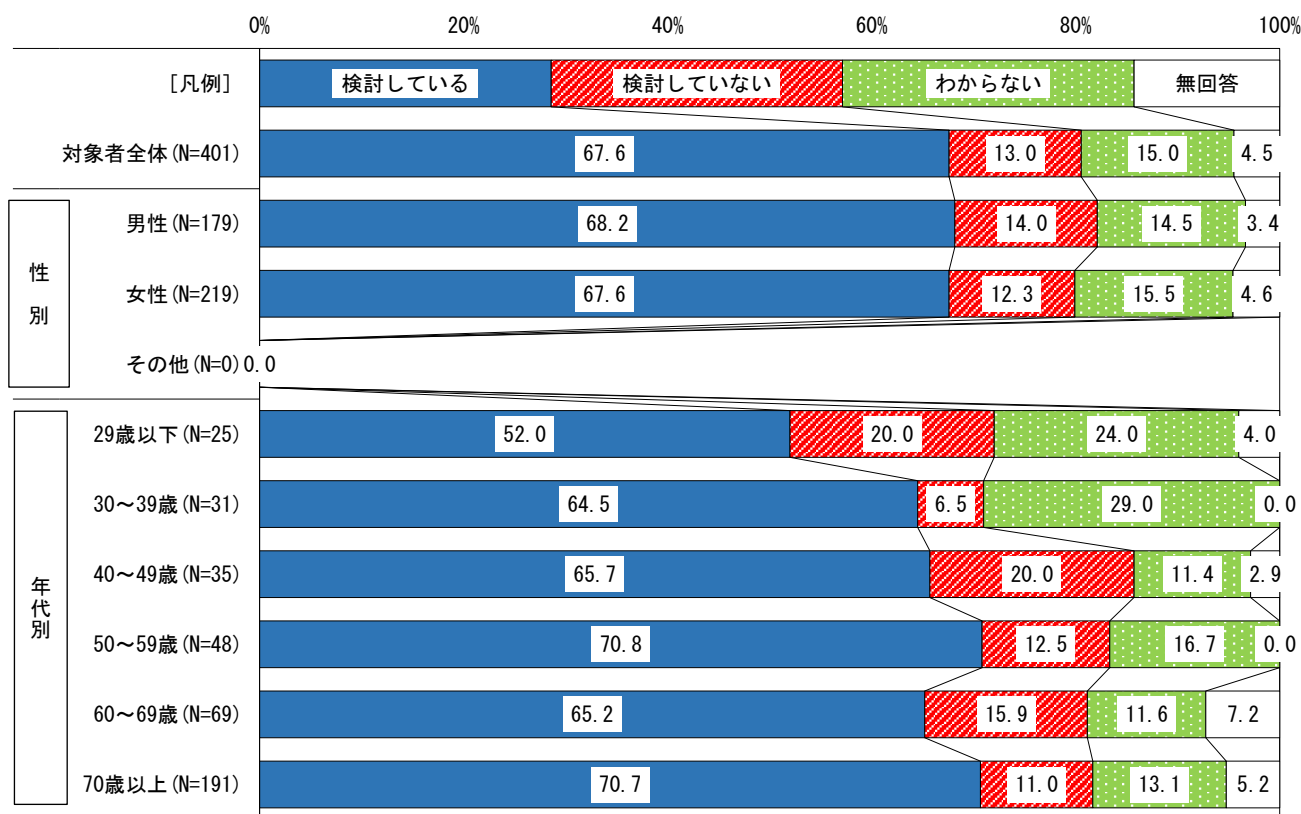
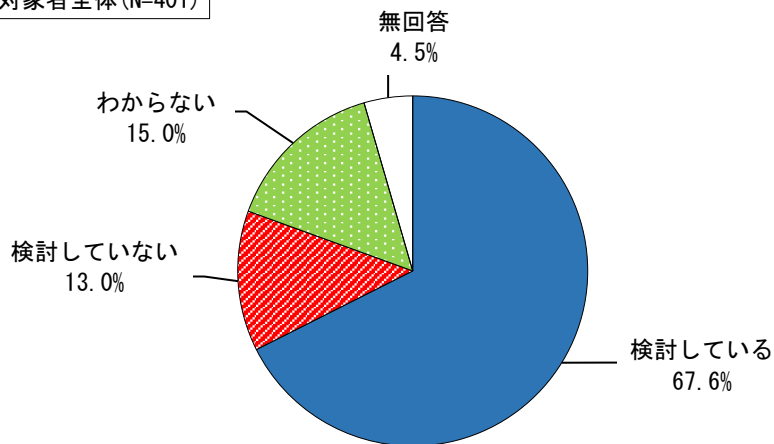
## ◇在宅避難をふまえた避難場所の検討

《問17で「1 避難所」と答えた方にお聞きします。》

**問17-1** あなたは、在宅避難をふまえた避難場所を検討していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

### 在宅避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が67.6%

対象者全体 (N=401)



【全 体】在宅避難をふまえた避難場所の検討は、「検討している」が67.6%、「検討していない」が13.0%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

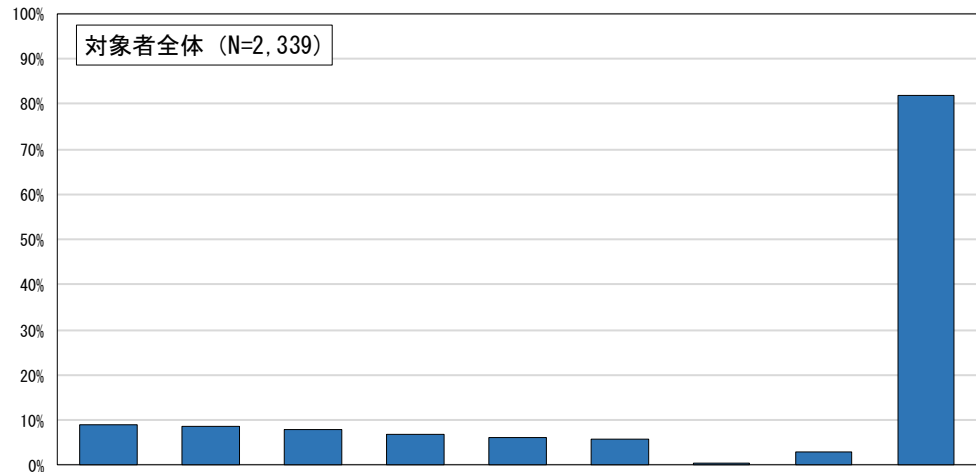
【年代別】「検討している」が50歳代(70.8%)で最も高く、次いで70歳以上(70.7%)、40歳代(65.7%)となっている。

◇子育て時の防災について知りたい情報

《0歳から小学6年生までの子どもを育てている方にお聞きします。》

問18 あなたは、子育て時の防災について、どのような情報を知りたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

子育て時の防災について知りたい情報は、「災害時に備えた子どもとの安否確認」が9.1%



		対象者数	災害時に備えた子どもとの安否確認	子どものための備蓄品	子どもとの避難先での過ごし方	子どものために家庭でできる防災対策	子育て時の避難のあり方	子育て世帯の災害対応などの事例紹介	その他	特になし	無回答
		(%)									
対象者全体		2,339	9.1	8.5	7.8	6.9	6.3	5.9	0.2	3.1	81.8
性別	男性	937	7.8	7.9	6.4	5.4	6.0	4.8	0.3	4.4	80.9
	女性	1,376	10.1	9.0	8.8	7.8	6.5	6.7	0.1	2.1	82.4
	その他	7	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年代別	29歳以下	167	9.0	13.8	15.0	9.6	16.2	10.2	-	4.2	71.9
	30~39歳	218	29.8	34.9	31.7	25.2	25.2	28.4	-	4.6	46.8
	40~49歳	346	26.0	19.1	17.3	18.8	12.1	13.3	1.2	4.3	56.6
	50~59歳	414	4.8	3.6	2.9	2.7	1.4	1.0	-	2.7	93.0
	60~69歳	441	2.3	1.6	1.8	1.1	2.3	1.1	-	2.7	93.0
	70歳以上	735	1.6	1.5	1.0	1.0	0.8	0.4	0.1	2.2	94.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】子育て時の防災について知りたい情報は、「災害時に備えた子どもとの安否確認」が9.1%、「子どものための備蓄品」が8.5%、「子どもとの避難先での過ごし方」が7.8%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

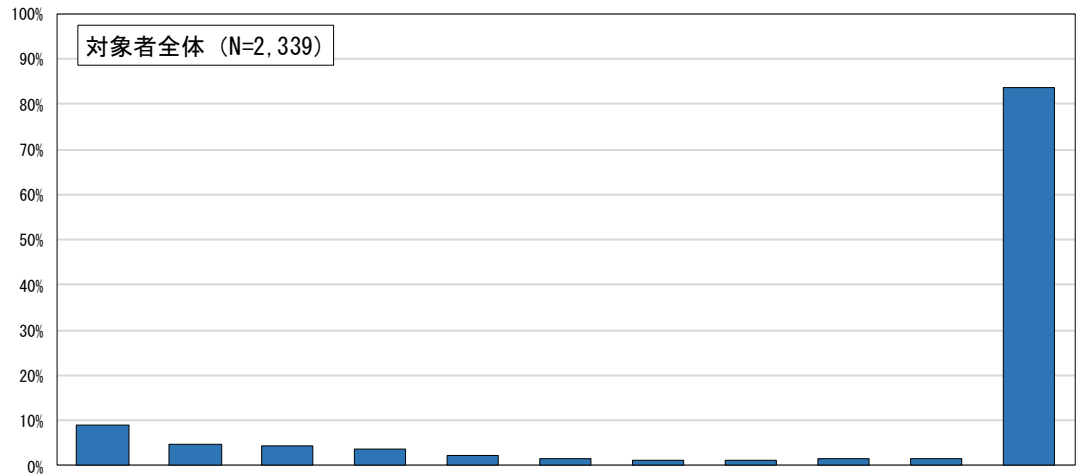
【年代別】29歳以下では「子育て時の避難のあり方」、30歳代では「子どもための備蓄品」、40歳代では「災害時に備えた子どもとの安否確認」が最も高くなっている。

◇防災のイベントや講演に参加しやすい場所

《引き続き、0歳から小学6年生までの子どもを育てている方にお聞きします。》

問19 あなたは、どのような場所であると防災のイベントや講演などに参加しやすいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

防災のイベントや講演に参加しやすい場所は、「学校」が9.0%



対象者数		学校	商業施設	児童会館	子育て支援センター	保健センター	図書館	市民防災センター	その他	どこでもいい	参加しやすい場所はない・わからない	無回答
対象者全体 (N=2,339)		9.0	4.9	4.4	3.7	2.1	1.7	1.3	1.3	1.4	1.7	83.7
性別	男性 (937)	9.2	4.6	3.7	2.5	1.7	0.9	1.6	1.5	1.5	1.9	83.4
	女性 (1,376)	9.0	5.1	4.8	4.5	2.4	2.2	0.9	1.2	1.4	1.5	83.9
	その他 (7)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年代別	29歳以下 (167)	9.6	7.8	3.6	6.6	4.2	0.6	1.8	1.2	3.0	6.0	74.3
	30～39歳 (218)	28.0	13.8	18.3	18.8	9.6	6.4	1.4	5.0	4.6	3.7	49.1
	40～49歳 (346)	27.2	14.5	8.7	5.8	2.6	4.6	2.6	2.9	2.3	2.0	60.1
	50～59歳 (414)	4.1	2.7	2.4	0.7	0.7	0.7	0.7	1.0	0.7	0.2	93.0
	60～69歳 (441)	1.6	0.5	1.4	0.9	0.7	0.5	0.2	0.2	0.5	2.0	95.5
	70歳以上 (735)	2.0	1.0	1.2	0.8	0.8	0.3	1.2	0.4	0.7	0.5	95.0

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い  
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】 防災のイベントや講演に参加しやすい場所は、「学校」が9.0%、「商業施設」が4.9%、「児童会館」が4.4%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「学校」が30歳代（28.0%）で最も高く、次いで40歳代（27.2%）、29歳以下（9.6%）となっている。